

守岡新会長就任挨拶（R01/7/19 総会）

ただいまみなさま方からご承認いただき、会長を務めさせていただくこととなりましたS60卒の守岡でございます。大役でございますので不安な面もございますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。



さて、私の知っている立命館大学は、府立医大の前、御所近くの広小路にあったのを覚えております。学校のホームページを見ましたら、西園寺公望公が御所の中に私塾を開かれて、一時閉じられた後、中川小十郎先生が再興されたということでございます。

それで土木の方ですけれども、衣笠ですので毎日衣笠まで、京都駅からバスに50分ぐらいかけて乗って通っておりました。今は、南草津駅からBKCまでバスが運行されております。数年前からは、バスが2台繋がった接続バスが運航されております。それと言いますのも、バス待ちの学生の列が改札口の近くまで続くことがあるそうで、輸送力の増強をはかったということを知っています。BKCが1994年ですからできてから25年が経ちますので、これからはBKCから巣立った皆さまが中心となって、この会を引っ張っていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

今日は20代の方から80代の大先輩の方々にご参加いただいております。若手のみなさま方、先輩方と積極的に話をさせていただいて、知識と経験を吸収していただきたいと思います。皆さんが困った時に、あのとき先輩がこんなこと言っていたけどこのことなのだなと思う時が必ず来ます。また、先輩のみなさま方は、わかりやすくご教示願えればと思います。よろしくお願いいたします。

それからもう一つ、少し皆さん元気がないなあと感じています。立命館出身の土木の技術者はすごいんだぞというところが必要だなと思います。例えば、技術の資格を取ることもそうだと思います。もう持っておられる方もおられると思いますが、皆さんの能力からしたら、勉強したら受かります。1日30分とか1時間とかこつこつやって、立命館の卒業生イコール技術士と思って貰えるぐらいになりましょう。そうすることで自信も生まれてくるのではないかと思います。是非よろしくお願いいたします。

偉そうなことをいろいろ申し上げましたけれども、短い時間ではありますが、楽しんで頂ければ嬉しいです。よろしくお願いいたします。